

# スーパーマーケット販売統計調査資料

2016年12月実績 速報版(パネル270)

11月実績 確報版(パネル270)

2016年 年間集計 速報版

(2017年1月20日公表)

## 調査資料概要

### 【パネル270社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016年4月実績よりパネル対象企業変更(275社→270社)

### 【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

### 【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

### 【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

### 【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

### 【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2017年1月20日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2016年12月実績 速報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	102,966,247	100.0%	102.6%	100.6%
食品合計	91,626,035	89.0%	103.4%	101.2%
生鮮3部門合計	35,327,025	34.3%	104.6%	102.1%
青果	13,598,831	13.2%	110.4%	107.9%
水産	10,031,535	9.7%	99.3%	97.2%
畜産	11,696,658	11.4%	102.9%	100.4%
惣菜	10,026,771	9.7%	103.2%	100.7%
日配	19,075,611	18.5%	103.4%	101.3%
一般食品	27,196,628	26.4%	102.1%	100.1%
非食品	8,170,189	7.9%	96.8%	96.6%
その他	3,170,071	3.1%	95.2%	95.3%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	15,153,071	43	102.7%	100.9%
関東地方	37,774,243	73	103.1%	101.9%
中部地方	12,834,858	53	104.0%	99.4%
近畿地方	21,166,841	44	100.7%	99.6%
中国・四国地方	10,544,104	34	104.2%	99.0%
九州・沖縄地方	5,493,130	23	102.2%	100.1%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	940,867	47	98.1%	98.1%
4~10店舗	4,409,295	68	101.1%	99.9%
11~25店舗	11,959,824	65	100.4%	100.4%
26~50店舗	20,357,682	47	103.1%	100.1%
51店舗以上	65,298,577	43	103.0%	100.8%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	100,043,437
総店舗数 (店舗)	7,753	店舗平均月商 (万円)	13,281
総売場面積 (㎡)	12,813,651	売場1㎡あたり売上高 (万円)	8.0

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2017年1月20日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2016年11月実績 確報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	85,360,788	100.0%	103.9%	101.5%
食品合計	75,988,719	89.0%	104.5%	101.9%
生鮮3部門合計	29,378,233	34.4%	106.6%	103.9%
青果	11,999,093	14.1%	115.1%	112.1%
水産	7,330,492	8.6%	99.5%	97.3%
畜産	10,048,648	11.8%	102.9%	100.1%
惣菜	8,184,121	9.6%	105.0%	102.1%
日配	16,431,254	19.2%	103.5%	101.3%
一般食品	21,995,112	25.8%	102.2%	99.6%
非食品	6,900,862	8.1%	101.2%	100.7%
その他	2,471,253	2.9%	96.7%	96.8%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	11,597,095	43	102.4%	100.2%
関東地方	31,488,219	73	104.4%	102.3%
中部地方	10,418,821	53	104.7%	100.3%
近畿地方	19,010,359	44	103.4%	102.2%
中国・四国地方	8,551,959	34	106.1%	100.9%
九州・沖縄地方	4,294,335	23	101.8%	100.9%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	726,013	47	97.2%	97.2%
4~10店舗	3,551,724	68	101.6%	100.5%
11~25店舗	9,664,453	65	101.9%	100.7%
26~50店舗	16,209,698	47	103.5%	100.9%
51店舗以上	55,208,900	43	104.6%	102.0%
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	82,902,927	
総店舗数 (店舗)	7,741	店舗平均月商 (万円)	11,027	
総売場面積 (㎡)	12,798,571	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2017年1月20日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## スーパーマーケット販売統計調査 2016年実績（パネル270）速報版

	全店売上高（万円）	構成比	前年度比 （全店）	前年度比 （既存店）
総売上高	1,054,620,244	100.0%	103.0%	100.8%
食品合計	938,485,769	89.0%	103.5%	101.2%
生鮮3部門合計	357,180,549	33.9%	103.1%	100.7%
青果	146,427,529	13.9%	104.4%	102.1%
水産	93,691,885	8.9%	101.4%	99.0%
畜産	117,061,135	11.1%	102.9%	100.3%
惣菜	104,456,306	9.9%	104.2%	101.6%
日配	202,840,592	19.2%	104.3%	101.9%
一般食品	274,008,321	26.0%	103.3%	101.3%
非食品	80,810,287	7.7%	99.8%	99.1%
その他	35,324,188	3.3%	96.4%	95.9%

### エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年度比 （全店）	前年度比 （既存店）
北海道・東北地方	146,651,984	43	102.5%	100.9%
関東地方	387,065,910	73	103.3%	101.2%
中部地方	129,798,090	53	103.7%	100.0%
近畿地方	229,661,987	44	101.8%	100.5%
中国・四国地方	106,557,199	34	104.8%	100.8%
九州・沖縄地方	54,885,073	23	103.2%	102.1%

### 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年度比 （全店）	前年度比 （既存店）
1～3店舗	9,428,937	47	98.4%	98.7%
4～10店舗	45,714,626	68	101.2%	100.3%
11～25店舗	127,535,742	67	102.1%	99.8%
26～50店舗	207,311,506	47	103.2%	100.5%
51店舗以上	664,629,432	41	103.4%	101.3%

※保有店舗数カテゴリーは2016年1月時点での保有店舗数による分類

集計企業数（社）	270	既存店総売上高（万円）	1,021,653,129
----------	-----	-------------	---------------

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

## 2016年12月エリア別気候状況

### 1. 平均気温：月平均気温は東日本以南でかなり高く、沖縄・奄美では記録の高温となった

上旬：沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。北日本では平年並だった。

中旬：沖縄・奄美で高く、北・東・西日本では平年並だった。

下旬：東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美でも高かった。北日本では平年並だった。

2015年12月との比較：前年の中旬が平年よりかなり気温が高かったため、東日本を中心に前年よりかなり低い気温となった。

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2016年12月			2015年12月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	0.3	-0.8	-0.1	1.5	3.7	0.2	-1.2	-4.5	-0.3
東北地方	1.0	0.4	1.3	0.5	3.1	0.6	0.5	-2.7	0.7
関東甲信地方	1.6	-0.1	2.1	1.0	3.4	1.6	0.6	-3.5	0.5
北陸地方	1.4	0.1	1.7	0.7	2.6	0.9	0.7	-2.5	0.8
東海地方	1.6	0.0	2.0	1.2	3.5	1.8	0.4	-3.5	0.2
近畿地方	1.5	0.0	1.9	1.4	2.7	1.4	0.1	-2.7	0.5
中国地方	1.6	0.5	1.8	1.2	1.9	1.1	0.4	-1.4	0.7
四国地方	1.5	0.5	2.1	1.7	2.1	1.9	-0.2	-1.6	0.2
九州北部	1.2	1.1	2.2	1.7	1.6	1.5	-0.5	-0.5	0.7
九州南部・奄美地方	1.5	1.3	2.1	1.6	1.5	2.1	-0.1	-0.2	0.0

平年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

前年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

### 2. 日照時間：北日本日本海側、東日本でやや多かった

上旬：北日本日本海側、東日本太平洋側と西日本で多かった一方、沖縄・奄美で少なかった。

中旬：北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。

下旬：北・西日本太平洋側は少なかった。

2015年12月との比較：全国的に前年と変わらない日照時間となった。

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年12月			2015年12月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	88	140	79	98	128	106	-10	12	-27
東北地方	131	111	99	113	121	108	18	-10	-9
関東甲信地方	122	112	95	101	85	95	21	27	0
北陸地方	116	111	97	140	110	73	-24	1	24
東海地方	119	104	98	102	85	97	17	19	1
近畿地方	117	95	83	105	82	98	12	13	-15
中国地方	118	99	84	95	74	106	23	25	-22
四国地方	110	91	86	92	101	120	18	-10	-34
九州北部	125	94	85	82	90	95	43	4	-10
九州南部・奄美地方	118	113	107	81	97	90	37	16	17

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

### 3. 降水量：月降水量は東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本太平洋側でも多かった

上旬：北日本と沖縄・奄美で多く、西日本日本海側で少なかった。

中旬：東・西日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。

下旬：北日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本日本海側と東日本でも多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。

2015年12月との比較：上旬は西日本を中心にかなり少なく、下旬は西日本を中心にかなり多い降水量となった。

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年12月			2015年12月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	141	56	186	116	90	89	25	-34	97
東北地方	96	138	109	93	263	62	3	-125	47
関東甲信地方	75	265	211	47	257	54	28	8	157
北陸地方	97	82	131	88	130	97	9	-48	34
東海地方	53	291	332	123	309	132	-70	-18	200
近畿地方	79	253	262	149	325	143	-70	-72	119
中国地方	105	169	306	234	234	113	-129	-65	193
四国地方	99	301	317	463	295	219	-364	6	98
九州北部	41	215	377	338	99	145	-297	116	232
九州南部・奄美地方	37	145	159	506	38	113	-469	107	46

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

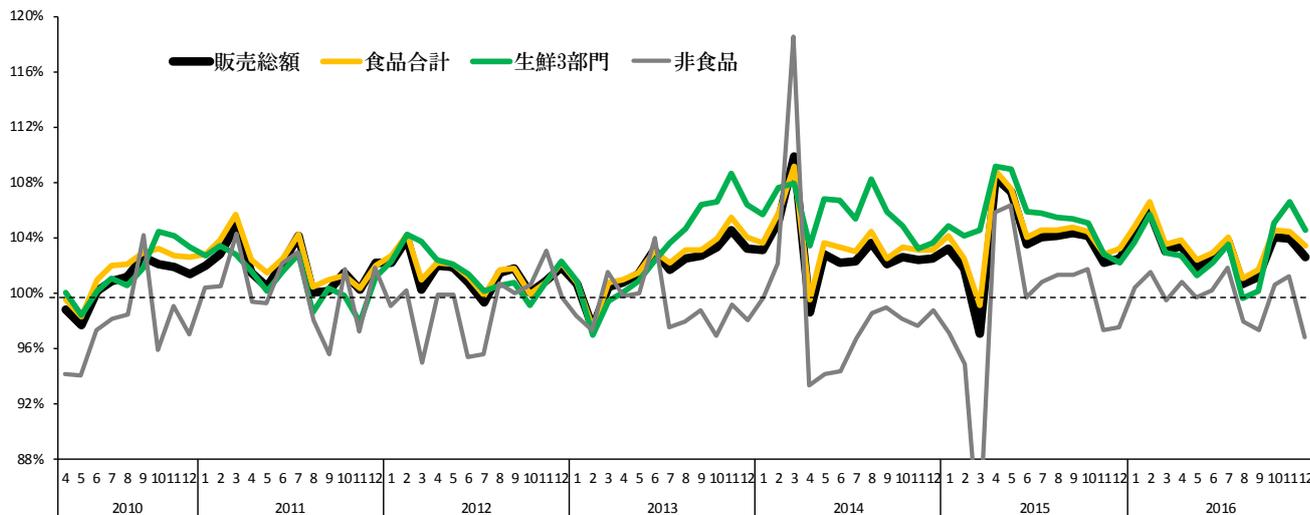
気象庁ホームページ・報道発表資料「12月の気候」参照

平年値は過去30年（1981年~2010年）の平均

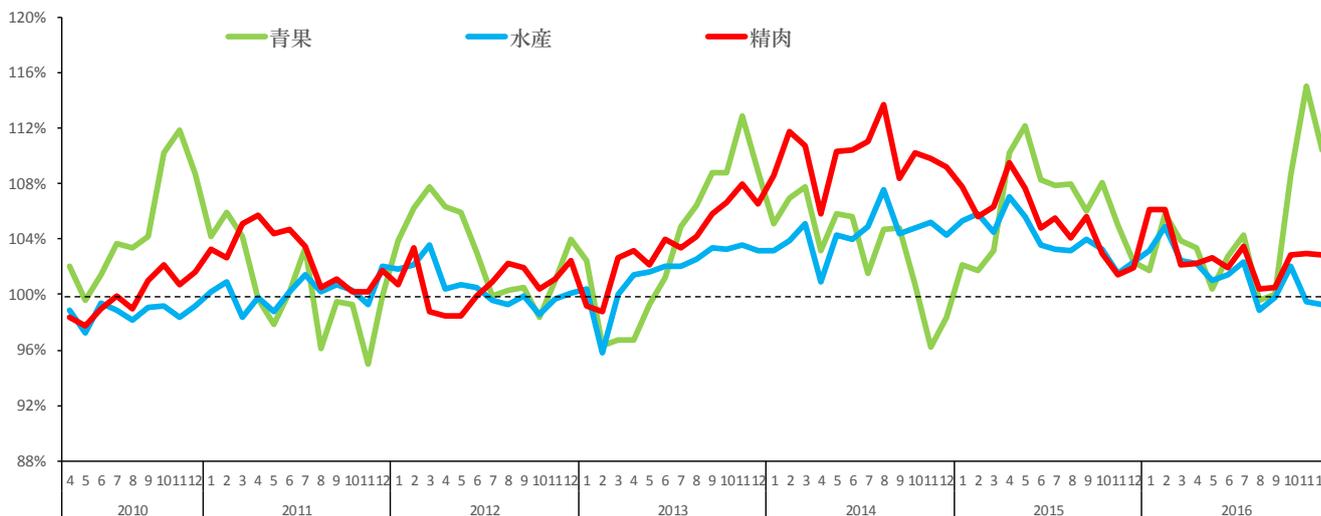
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年12月(前年同月比/全店ベース)

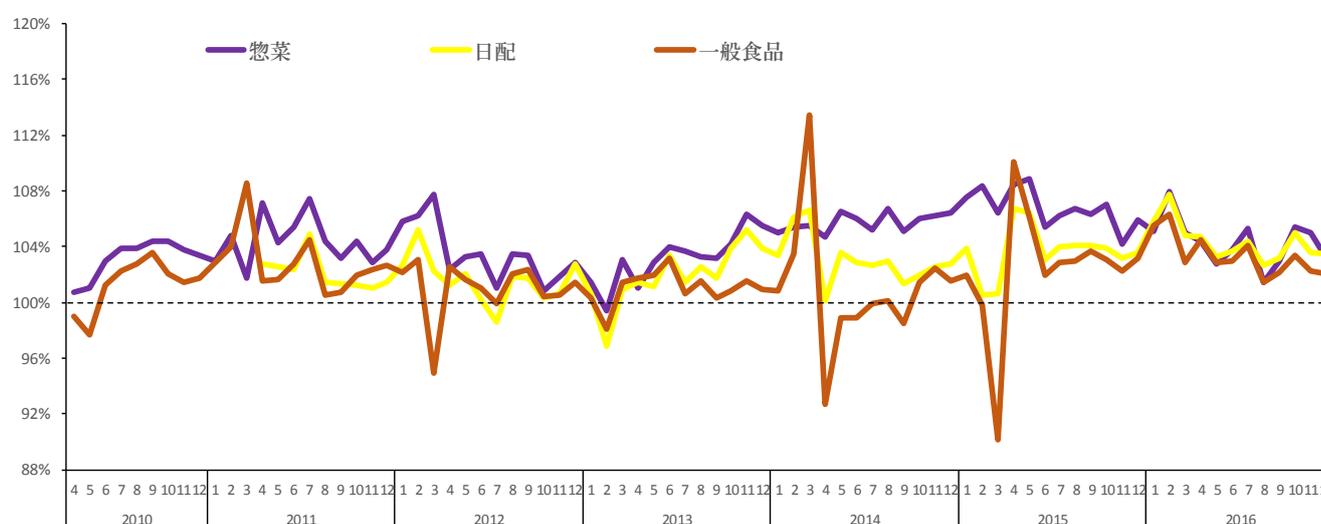
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年11月までは確報版による前年同月比、2016年12月は速報版による前年同月比  
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

# スーパーマーケット景気動向調査

2017年1月調査結果（12月実績）  
（2017年1月20日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

# 1月調査（12月実績）結果概況

## 景気判断DI 現状判断、見通し判断ともに小幅ながら3ヵ月連続で改善

12月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.5の47.7、見通し判断も前月から+0.7の44.3となり、共に小幅ながら3ヵ月連続の改善となった。

経営動向調査では、売上高DIが-4.0、収益DIは-4.0と共にマイナスとなった。大雪などの影響もあり来客数DIが-10.2（前月比-4.9）と大きく下落したことが影響している。高騰している生鮮品仕入原価は12.7と引き続き高水準を維持しており、客単価DIには大きな変化は見られなかった。

カテゴリー動向調査は、引き続き相場の高騰により青果DIが24.1と高水準を維持しているものの、他のDIは総じて伸び悩みをみせている。特に不漁による品不足や相場高が続く水産DIは-16.0まで低下している。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、小幅ながら多くのDIが前月に引き続きわずかに改善をみせ、3ヵ月連続の改善となった。一連の改善により、すべての移動平均線がプラス方向に転換しており、2015年の秋以降続いてきた悪化傾向から反転の流れが継続していると考えられる。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

引き続き青果相場高に支えられ、来客数DIのマイナスを客単価DIのプラスでカバーする厳しい環境が続いている。しかし、経営動向調査やカテゴリー動向調査結果では好調とはいえない環境でも、景況感の改善傾向が継続している状況はこれまでと明らかに異なる状況といえる。消費環境の改善の兆しによるプラス面が相場の落ち着きによるマイナス面をカバーすることができるか動向が注目される。

### 景況感調査

#### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月：47.7 (+0.5) 前月：47.2	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：48.6 (+1.2) 前月：47.4	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：42.9 (+1.5) 前月：41.4	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：47.6 (+0.8) 前月：46.8
--	---	---	---

#### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月：44.3 (+0.7) 前月：43.6	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：45.0 (-0.1) 前月：45.1	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：41.3 (+1.2) 前月：40.1	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：46.5 (+0.5) 前月：46.0
--	---	---	---

### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月：-4.0 (-4.1) 前月：0.1	<b>客単価DI</b> 当月：5.6 (-0.7) 前月：6.3	<b>来客数DI</b> 当月：-10.2 (-4.9) 前月：-5.3	
<b>収益DI</b> 当月：-4.0 (+1.0) 前月：-5.0	<b>販売価格DI</b> 当月：4.1 (-3.4) 前月：7.5	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月：12.7 (-3.8) 前月：16.5	<b>食品仕入原価DI</b> 当月：1.3 (-3.0) 前月：4.3

### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月：24.1 (-3.1) 前月：27.2	<b>水産DI</b> 当月：-16.0 (-2.7) 前月：-13.3	<b>畜産DI</b> 当月：-3.1 (+1.4) 前月：-4.5	
<b>惣菜DI</b> 当月：2.9 (-4.3) 前月：7.2	<b>日配DI</b> 当月：0.4 (+1.0) 前月：-0.6	<b>一般食品DI</b> 当月：-9.2 (-1.3) 前月：-7.9	<b>非食品DI</b> 当月：-12.4 (-2.7) 前月：-9.7

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

# 1月調査（12月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

## 1. 売上高DI

2ヵ月連続でプラス圏を維持したが、当月は下落

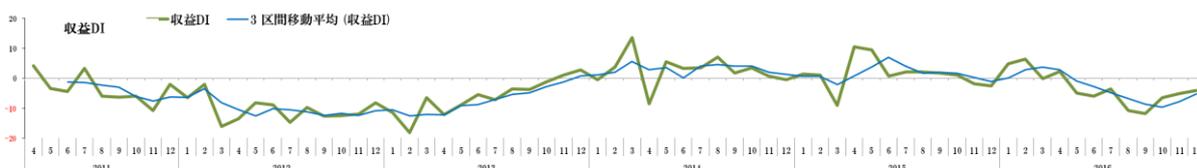
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	5.4	27.7	30.7	33.2	3.0	0.1
売上高（当月）	<b>6.6</b>	<b>30.6</b>	<b>35.5</b>	<b>26.8</b>	<b>0.5</b>	<b>-4.0</b>



## 2. 収益DI

10月以降改善傾向が続くも、引き続きマイナス圏での推移

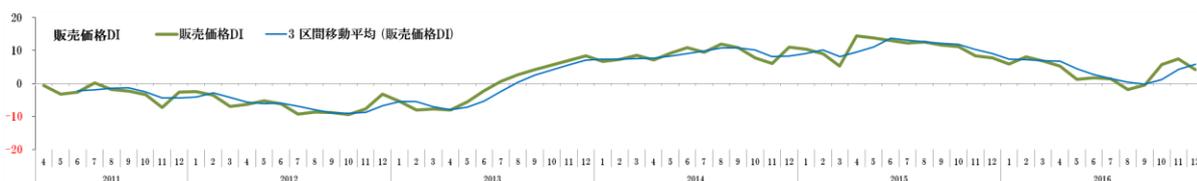
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	8.5	33.2	31.2	24.1	3.0	-5.0
収益（当月）	<b>5.0</b>	<b>31.5</b>	<b>40.3</b>	<b>21.0</b>	<b>2.2</b>	<b>-4.0</b>



## 3. 販売価格DI

直近は下降傾向からやや反発も、当月は下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.5	6.0	58.2	33.8	1.5	7.5
販売価格（当月）	<b>0.0</b>	<b>11.0</b>	<b>62.1</b>	<b>26.4</b>	<b>0.5</b>	<b>4.1</b>



## 4. 客単価DI

直近は下降傾向からやや反発も、当月は小幅に下落

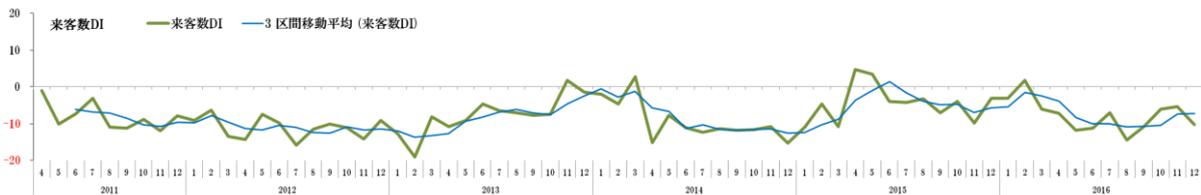
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	15.9	42.8	41.3	0.0	6.3
客単価（当月）	<b>0.0</b>	<b>18.6</b>	<b>41.0</b>	<b>39.9</b>	<b>0.5</b>	<b>5.6</b>



## 5. 来客数 DI

当月下落し、マイナス圏での低迷が続く

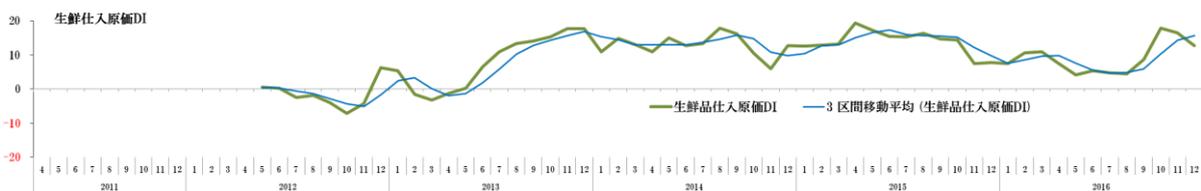
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.5	38.3	32.8	22.9	1.5	-5.3
来客数 (当月)	5.5	45.4	33.9	15.3	0.0	-10.2



## 6. 生鮮仕入原価 DI

二桁プラス水準を維持

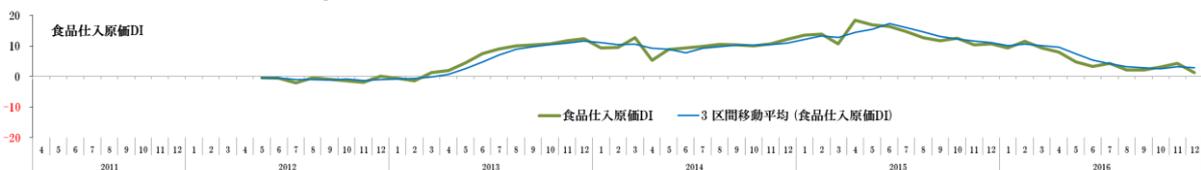
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	4.6	33.0	52.3	9.6	16.5
生鮮仕入原価 (当月)	1.1	5.6	40.1	47.5	5.6	12.7



## 7. 食品仕入原価 DI

2015年4月をピークとした下降傾向続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	7.1	68.7	22.2	1.5	4.3
食品仕入原価 (当月)	2.2	6.1	76.0	15.6	0.0	1.3

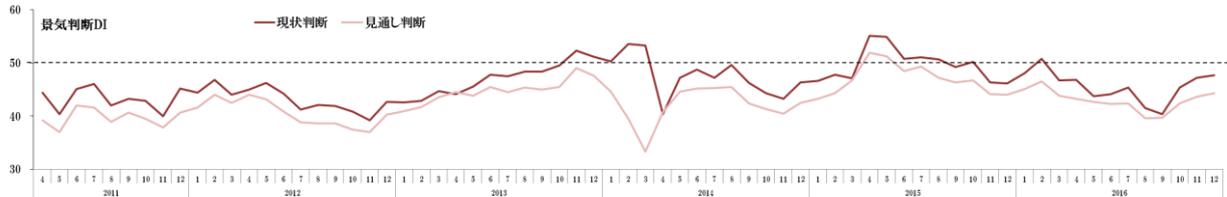


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に3ヵ月連続で小幅に改善をみせる

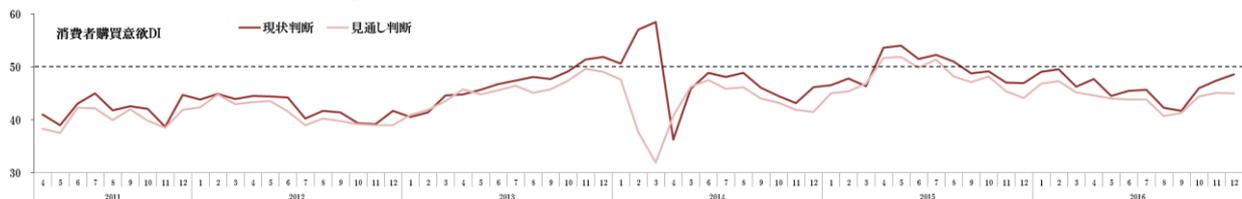
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.0	22.1	64.2	12.7	0.0	47.2
【現状】景気判断 (当月)	0.5	18.0	71.6	9.8	0.0	47.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.9	25.5	65.7	5.9	0.0	43.6
【見通し】景気判断 (当月)	1.1	27.2	65.2	6.5	0.0	44.3



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は3ヵ月連続で小幅に改善をみせる

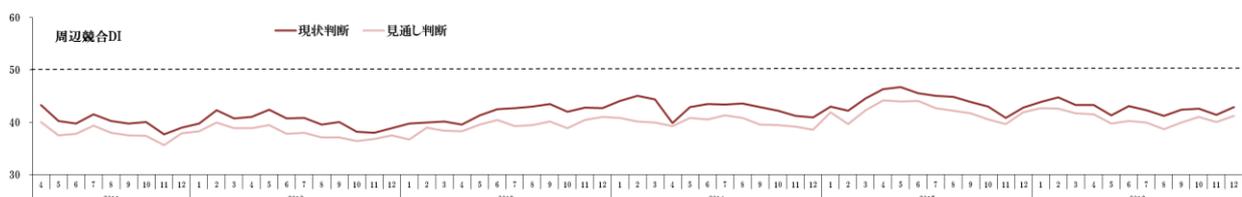
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	20.1	70.1	9.8	0.0	47.4
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	17.9	69.6	12.5	0.0	48.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	24.5	70.6	4.9	0.0	45.1
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	24.5	69.6	5.4	0.0	45.0



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に小幅に改善も、低位横ばい傾向続く

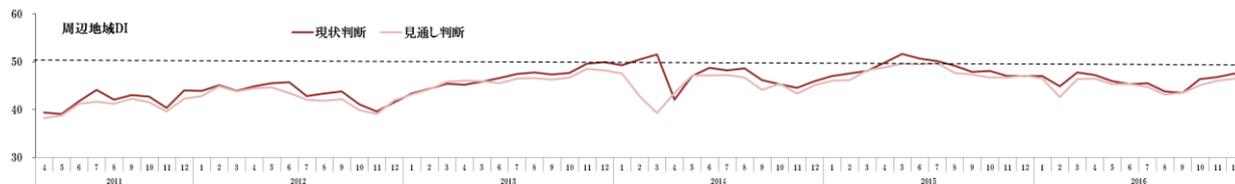
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	4.4	27.5	66.7	1.0	0.5	41.4
【現状】競合状況 (当月)	2.7	26.2	68.3	2.2	0.5	42.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.9	31.4	62.3	1.5	0.0	40.1
【見通し】競合状況 (当月)	2.7	31.7	63.4	2.2	0.0	41.3



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に3ヵ月連続で小幅に改善をみせる

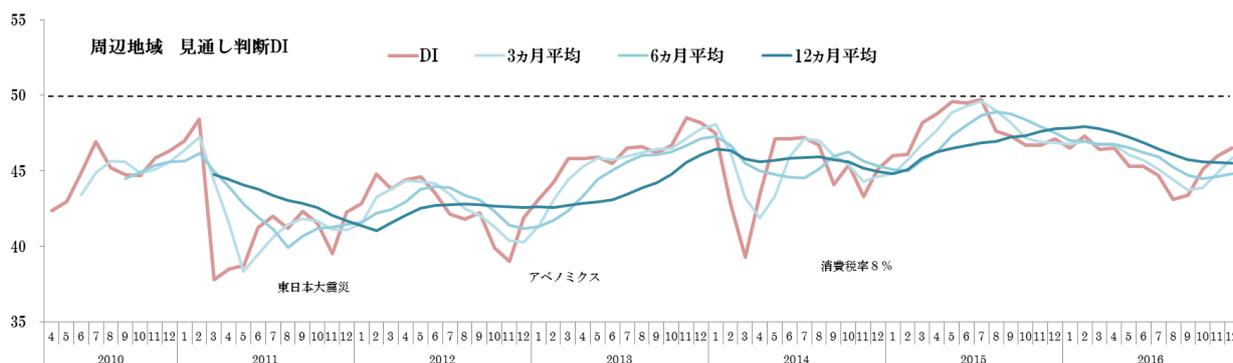
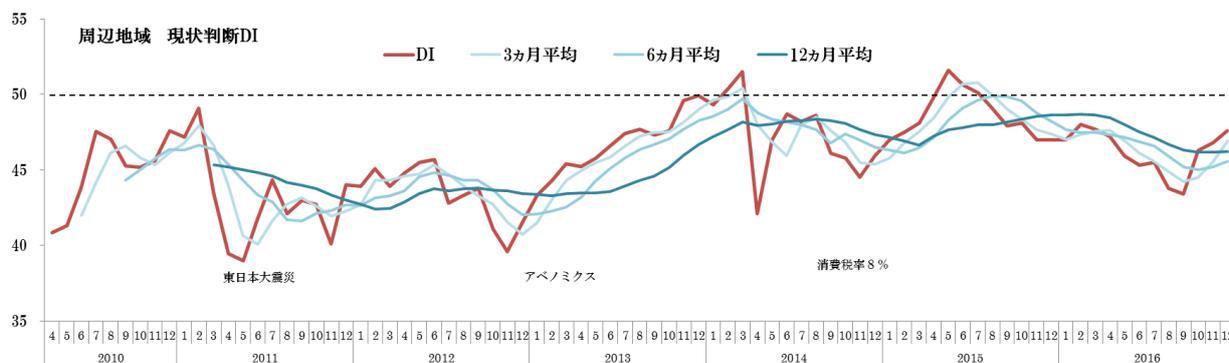
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.5	14.3	82.8	2.5	0.0	46.8
【現状】地域景気(当月)	0.0	12.5	84.8	2.7	0.0	47.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	1.0	16.3	80.2	2.5	0.0	46.0
【見通し】地域景気(当月)	0.5	16.3	79.9	3.3	0.0	46.5



#### 長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、11月、12月も小幅に改善した。

2016年4月に13ヵ月ぶり「12ヵ月移動平均」がマイナスを記録したが、直近の3ヶ月連続の改善による移動平均はすべてプラスに転換をみせている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：24.1（かなり好調）

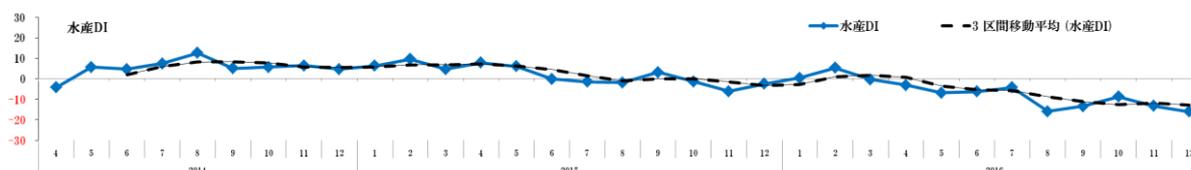
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	2.1	5.6	11.8	42.6	37.9	27.2
青果（当月）	<b>0.0</b>	<b>8.0</b>	<b>13.7</b>	<b>52.0</b>	<b>26.3</b>	<b>24.1</b>



野菜相場は引き続き高値で推移しており一品単価増につながっていることや、月の後半から価格にやや落ち着きもみられ、買い上げ点数に改善がみられたことで好調となった。野菜は全般的に好調となっており、葉物類、根菜類、菌茸類が好調となった。鍋商材は高い気温の影響を受けた店舗もみられたが比較的好調となった。高値が続く果物ではみかんは好調、いちごは好不調がわかれ、単価が下落したバナナ、リンゴは不調とする店舗が多かった。

#### 2. 水産DI：-16.0（不調）

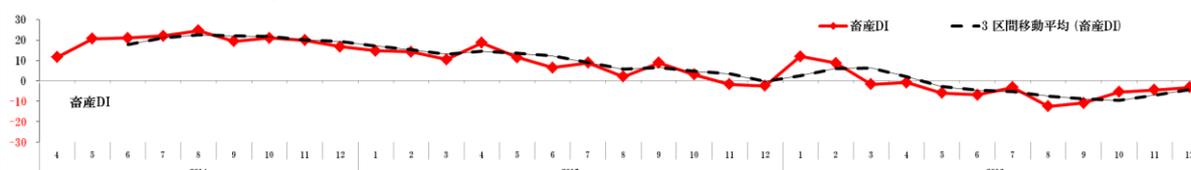
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	12.8	41.3	32.7	12.8	0.5	-13.3
水産（当月）	<b>12.8</b>	<b>49.4</b>	<b>27.3</b>	<b>9.9</b>	<b>0.6</b>	<b>-16.0</b>



主力品や年末需要品の多くが不漁による高値で推移した。クリスマス前までは不振であったが、年末商戦では比較的好調となっており、刺身類や数の子は好調とする店舗が多かった。ノロウイルスの流行により貝類（特にカキ）は大きく落ち込みをみせた。入荷不足により品揃えに苦労した店舗も多かった。

#### 3. 畜産DI：-3.1（やや不調）

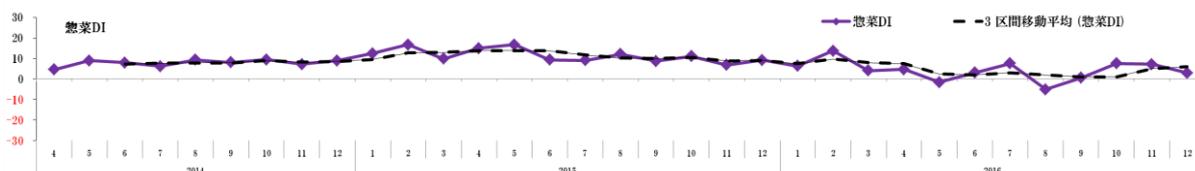
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	4.6	30.9	43.3	20.1	1.0	-4.5
畜産（当月）	<b>2.3</b>	<b>34.9</b>	<b>37.7</b>	<b>23.4</b>	<b>1.7</b>	<b>-3.1</b>



牛肉は和牛を中心に相場高が続いており、国産牛や輸入牛、相場が安定してきた豚肉や鶏肉の売り込みを強化している店舗が多くみられ、単価の伸び悩みが続いている。一方で、年末商戦ではすきやき・しゃぶしゃぶ用牛肉など和牛や銘柄牛を含め好調となった。加工品についてはわずかに回復傾向もみられるようになっている。一部では鳥インフルエンザの影響もみられた。

#### 4. 惣菜DI：2.9（やや好調）

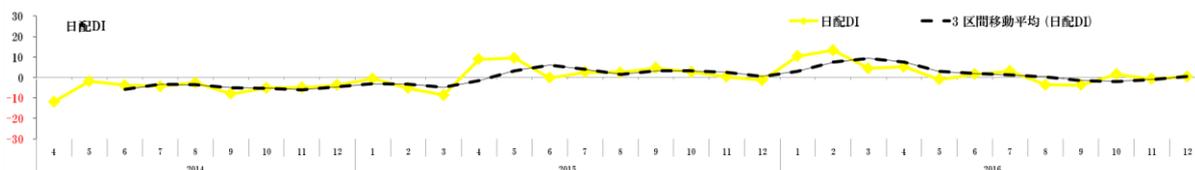
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.1	15.5	38.7	35.1	7.7	7.2
<b>惣菜（当月）</b>	<b>2.3</b>	<b>20.8</b>	<b>44.5</b>	<b>27.7</b>	<b>4.6</b>	<b>2.9</b>



クリスマス用のチキンやから揚げ、年末商戦は寿司盛り合わせなどが比較的好調に推移した。サラダ関連も引き続き好調となっている。それ以外では、ほぼ前年並みの傾向となった。人手不足により売場対応に苦慮している店舗もみられた。

#### 5. 日配DI：0.4

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	2.6	27.7	42.1	25.1	2.6	-0.6
<b>日配（当月）</b>	<b>2.9</b>	<b>21.7</b>	<b>48.0</b>	<b>25.7</b>	<b>1.7</b>	<b>0.4</b>

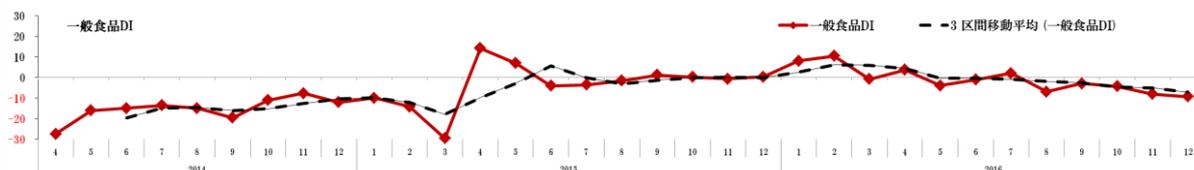


インフルエンザ対策で機能性乳酸菌飲料が好調となったが、高い気温の影響でパン類は不調となった。クリスマス商戦ではデザートを中心に洋日配が比較的好調となった。おせち商材は前年並みからやや不振。テレビで取り上げられた甘酒は好調。昨年好調であった納豆が反動減となっている。

#### 6. 一般食品：-9.2（やや不調）

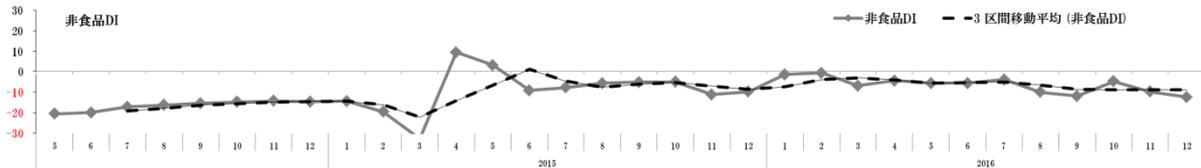
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.1	40.0	40.5	14.4	1.0	-7.9
<b>一般食品（当月）</b>	<b>5.2</b>	<b>40.8</b>	<b>40.2</b>	<b>13.2</b>	<b>0.6</b>	<b>-9.2</b>

単価上昇を追い風に米類や、餅関連はやや好調となった。気温が高めに推移したこともあり、冬物商材の動きは低調となった。年末商戦はほぼ前年並みとなったが、ギフト関連は不調となった。酒や調味料は好不調がわかれている。他業態と競争が厳しい状況にあるという指摘が多くなっている。



## 7. 非食品 DI：-12.4（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	8.6	39.2	37.1	12.4	2.7	-9.7
<b>非食品（当月）</b>	<b>7.6</b>	<b>45.9</b>	<b>36.5</b>	<b>8.2</b>	<b>1.8</b>	<b>-12.4</b>



気温が高いことで全般的に冬物商材の動きが悪かった。大掃除関連用品は好不調にわかれている。インフルエンザ関連は好調となった店舗が多い。特にこのカテゴリーでは他業態との競合で引き続き厳しい状況にある。

### カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20      好調：20 ～ 10      やや好調：10 ～ 0  
 やや不調：0 ～ -10      不調：-10 ～ -20      かなり不調：-20～

### 2017年1月調査（12月実績）キーワード TOP3

1. 青果相場高騰
2. 水産カテゴリーの不振
3. 競合の影響（価格競争）

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

12月実績速報版      204社  
 11月実績確報版      184社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)